



昨年の神戸中央大会のようす
 (2015年4月29日、神戸大倉山公園野球場にて)

4月29日(金・祝)は メーデーに参加しよう! 第87回神戸中央大会 神戸大倉山公園野球場にて

4月29日(金)、第87回兵庫県メーデー神戸中央大会が、神戸大倉山公園野球場で10時より開催される。メインスローガンは、「支え合い 助け合う 心をひとつに力を合わせ、暮らしの底上げを実現しよう!」

開会宣言の後、実行委員長や来賓のあいさつがあり、メーデー宣言を採択する。式典の終わりに、豪華賞品が多数当たる抽選会がおこなわれる。

その後参加者は、神戸総合庁舎前まで山手幹線を東進するグループと、湊川神社方面に南進するグループの二手にわかれ、市民へのアピールをおこないながらデモ行進する。

◆ 景気回復と雇用・生活の安定にむけて、みなさんお誘い合わせのうえ、多数ご参加ください。

16年度 専門部三役のみなさん (予定者含む) 敬称略

	部長	副部長		
女性部	釜口 清江 (本部)	森 康子 (新) (三田)	岡本 典子 (三原)	※後日決定
青年部	三上 雅康 (本部)	三好 努 (新) (神戸)	藤井 優策 (多西)	村尾 麻衣 (養父)
事務職員部	白石 明 (新) (姫路)	山仲 正博 (三田)	今岡 正喜 (美方)	田野 智子(予定・新) (氷上)
養護教員部	倉内 典子 (加印)	鶴房 美津子 (西宮)	長田 由香里 (赤相)	辻 かおり (多紀)
障害児教育部	佐藤 豊 (三美)	今西 広幸 (川西)	伊達 実 (姫路)	荒川 鉄也 (新) (姫路)
栄養教員部	須貝 直美 (姫路)	井崎 真吾 (宝塚)	宝子 一十美 (氷上)	※後日決定
幼児教育部	山川 陽子 (新) (伊丹)	岡本 久美子 (新) (西宮)	吉村 宏美 (新) (伊丹)	
臨時採用教職員部	堀江 啓一 (三田)	永井 佐喜子 (川西)	松尾 寛子 (姫路)	寒風 真弓 (新) (津名)



メーデーとは…
労働者の祭典。186年にアメリカの労働者が8時間労働制を要求しておこなったストライキが起源とされている。メーデー誕生当初の主張「8時間は労働に、8時間は休息に、8時間は自由な時間」は、今も語り継がれている。

『平和安全保障関連法(戦争法)の廃止をもとめる統一署名』にとりくもう!

平和フォーラム・「戦争をさせない1000人委員会」が呼びかける、平和安全保障関連法の廃止をもとめる全国署名運動に兵教組はとりくむ。

「教え子を再び戦場に送るな!」のスローガンの下、平和憲法を守り、憲法理念を否定するあらゆる動きを許さないため、各支部・分会でご協力をお願いします。

【集 団 参 加】
一、戦争法反対「市民社会教育推進法」を支持する旨を届けてください。
一、戦争法反対の意向を表明し、賛成の意思を、お知らせください。

【参 加 方 法】
一、参 加 者 名 簿
二、参 加 者 名 簿
三、参 加 者 名 簿
四、参 加 者 名 簿
五、参 加 者 名 簿
六、参 加 者 名 簿
七、参 加 者 名 簿
八、参 加 者 名 簿
九、参 加 者 名 簿
十、参 加 者 名 簿
十一、参 加 者 名 簿
十二、参 加 者 名 簿
十三、参 加 者 名 簿
十四、参 加 者 名 簿
十五、参 加 者 名 簿
十六、参 加 者 名 簿
十七、参 加 者 名 簿
十八、参 加 者 名 簿
十九、参 加 者 名 簿
二十、参 加 者 名 簿
二十一、参 加 者 名 簿
二十二、参 加 者 名 簿
二十三、参 加 者 名 簿
二十四、参 加 者 名 簿
二十五、参 加 者 名 簿
二十六、参 加 者 名 簿
二十七、参 加 者 名 簿
二十八、参 加 者 名 簿
二十九、参 加 者 名 簿
三十、参 加 者 名 簿
三十一、参 加 者 名 簿
三十二、参 加 者 名 簿
三十三、参 加 者 名 簿
三十四、参 加 者 名 簿
三十五、参 加 者 名 簿
三十六、参 加 者 名 簿
三十七、参 加 者 名 簿
三十八、参 加 者 名 簿
三十九、参 加 者 名 簿
四十、参 加 者 名 簿
四十一、参 加 者 名 簿
四十二、参 加 者 名 簿
四十三、参 加 者 名 簿
四十四、参 加 者 名 簿
四十五、参 加 者 名 簿
四十六、参 加 者 名 簿
四十七、参 加 者 名 簿
四十八、参 加 者 名 簿
四十九、参 加 者 名 簿
五十、参 加 者 名 簿
五十一、参 加 者 名 簿
五十二、参 加 者 名 簿
五十三、参 加 者 名 簿
五十四、参 加 者 名 簿
五十五、参 加 者 名 簿
五十六、参 加 者 名 簿
五十七、参 加 者 名 簿
五十八、参 加 者 名 簿
五十九、参 加 者 名 簿
六十、参 加 者 名 簿
六十一、参 加 者 名 簿
六十二、参 加 者 名 簿
六十三、参 加 者 名 簿
六十四、参 加 者 名 簿
六十五、参 加 者 名 簿
六十六、参 加 者 名 簿
六十七、参 加 者 名 簿
六十八、参 加 者 名 簿
六十九、参 加 者 名 簿
七十、参 加 者 名 簿
七十一、参 加 者 名 簿
七十二、参 加 者 名 簿
七十三、参 加 者 名 簿
七十四、参 加 者 名 簿
七十五、参 加 者 名 簿
七十六、参 加 者 名 簿
七十七、参 加 者 名 簿
七十八、参 加 者 名 簿
七十九、参 加 者 名 簿
八十、参 加 者 名 簿
八十一、参 加 者 名 簿
八十二、参 加 者 名 簿
八十三、参 加 者 名 簿
八十四、参 加 者 名 簿
八十五、参 加 者 名 簿
八十六、参 加 者 名 簿
八十七、参 加 者 名 簿
八十八、参 加 者 名 簿
八十九、参 加 者 名 簿
九十、参 加 者 名 簿
九十一、参 加 者 名 簿
九十二、参 加 者 名 簿
九十三、参 加 者 名 簿
九十四、参 加 者 名 簿
九十五、参 加 者 名 簿
九十六、参 加 者 名 簿
九十七、参 加 者 名 簿
九十八、参 加 者 名 簿
九十九、参 加 者 名 簿
一百、参 加 者 名 簿



発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8
 兵庫県教職員組合
 発行人 兵庫県教職員組合 代表者 泉 雄一郎
 編集人 川原 芳和
 電話 050(3538)2346
 1部7円 年定価280円
 (組合員の購読料は組合費の中に含む)

2016/4・15
 No. 1904
 2面
 ・2016年度
 ・協賛金のとりくみのお願い
 ・2015年度
 教育文化・社会貢献事業概要



私たちと同じ日教組組合員の仲間が働く病院 近畿中央病院を利用しよう! — 公立学校共済組合 組合員優遇制度のご紹介 — (組合員 及び その被扶養者)

I. 人間ドック	III. 一般診療等
①交通費を支給(共済規定による額)	①初診に係る特別料金【特定療養費2,600円(税込み)】が免除
②オプション検査である動脈硬化ドック(3,780円:税込み)が無料【本部補助事業】	②以下の費用が半額 ・室料差額【個室料金7,236円〜20,520円(税込み)が半額】 ・分娩入院時の分娩料(分娩料以外の自費料金【保険点数換算分】については一般の1割引) ・文書料
③支部事業の人間ドックにおいて、特定保健指導が必要であると受診結果により判定された場合、ドック同日に特定保健指導の受診が可能(脳ドックコースについては、特定保健指導の予約が可能)	③各種自費診療が一般の1割引(体外受精・不妊相談・化学的しみ取り等)
	④入院・退院時の交通費を支給(共済規定による額)
	⑤直営病院人間ドック後の二次健診に際し、交通費を支給(要精検の指示がある場合のみ、来院1回に限り共済規定による額を支給)
	⑥歯科口腔外科において虫歯治療の受け入れ
	⑦時間外初診患者の受け入れ
	⑧各種相談 ・メンタルヘルス相談(心療内科—無料) ・セカンドオピニオン相談(各診療科—無料)
	⑨教員職場復帰支援事業の実施(兵庫県・神戸市・大阪府・京都府・堺市・大阪府豊能地区)

公立学校共済組合兵庫支部 2016年度 新規保健事業

組合員ニーズに対応し、下記の事業が新設されました。

- インフルエンザ予防接種助成
- ①対 象 者：組合員(年齢制限なし)
- ②助成限度額：年間1,000円(上限)
- ③定 員：10,000人
- ④対象受診期間：2016年4月1日(金)～2017年3月21日(火)
- ⑤請 求 期 間：2016年7月1日(金)～2017年3月24日(金)(必着)
※定員に達した場合は、上記期間内でも受付を終了します。
- ・年度当初に各所属所に配布された「保健福祉事業の実施要項」に沿って、領収書(原本)を添付して請求。
- ・その他詳しくは、実施要項かHPを参照。

- 脳検査付き人間ドック(1日ドック)
- ①対 象 者：50歳以上の組合員
- ②定 員：100人(近畿中央病院で実施)
- ③自己負担金：16,000円
※脳専門医の当日問診を省略し、現行の自己負担金合計を減額。【人間ドック(8,000円)・脳ドック(10,000円)】
- 廃止された事業 メンタルヘルスチェック
… 事業主によるストレスチェック開始のため
- 縮小された事業 血液検査
… 定員2,000人→1,000人

私たち教職員は体が資本であり、健康管理をしっかりとこそ、安心して職務に専念できます。健康管理の機会を有効に活用し、病気の未然防止・早期発見・早期治療にむけた学校現場全体での啓発と周知をすすめ、協力・協働体制をつくりましょう。

兵庫県教職員組合 教育文化・社会貢献事業 の充実、発展をめざそう！

主におこなっている事業

- ①兵庫県内の公立小学校・中学校、義務教育学校、中等教育学校および特別支援学校等に在学する児童・生徒に対する支援
- ②教職員の教育力量を高めるための研究助成
- ③県民の教育および文化の向上と教育改革県民運動発展に対する助成
- ④県内の福祉団体等への助成
- ⑤その他、目的を達成するのに必要な事業

事業賛同者のかたへ

「協賛金」は 1口500円 です。

受給者 は … 5口 2,500円以上
一般教職員等 は … 1口 500円以上

のご協力を呼びかけています。

※詳しくは各支部書記局へお問い合わせください。



組合員をはじめ、
すべての教職員の協力を！



兵庫県教職員組合は、1978年より長年にわたり、組合員のカンパや協賛者、賛同団体などからの寄付金を財源に、教育振興特別事業・福祉事業などのさまざまな社会貢献活動や、教育条件整備とともに子どもたちへの就学援助事業をおこなってきました。

協賛金

賛同者募集

発展的に見直し、大きな成果をあげてきました。15年度も5千人を超える方々に賛同いただきました。10年目を迎えるこの事業の趣旨およびこれまでの経緯をふまえ、社会貢献活動の一環として今後の事業の発展のため、皆様のさらなるご理解とご協力をお願いします。

▶「教育文化・社会貢献事業」とは

経済的に厳しい生活環境にある児童・生徒への支援をおこない、かつ県内の教育研究を助成するとともに、教育及び文化の発展に寄与し、Philanthropy（社会貢献）の理念の普及、県民福祉の向上をはかるものです。

2015年度におこなった事業概要

教育文化事業

子どもと親の劇場

第65次兵庫県教育研究集会（ひょうご教育フェスティバル）の記念事業として、11月13日に上郡町生涯学習支援センターで貞松・浜田バレエ団による公演をおこない、地域の子ども・保護者等、約240人が参加した。

こどもの詩と絵

『ひょうご2015 こどもの詩と絵 第36集』を発刊。3月13日に表彰式・発刊集会をラッセルホールで開催し、約1,000人の参加があった。応募（詩749点、絵2,122点）の中から、詩132点、絵287点が掲載された。



『こどもの詩と絵』表彰式・発刊集会

分会教育研究助成

○衣川中（明石支部）
「小1プロブレム・中1ギャップ」を埋める異校種間の連携
保幼小中の先生が、同じことにこだわり、同じ目標を持って連携して指導できる体制づくりをおこなった。

○松帆小（三原支部）

自分の考えを表現するための「生きてはたらくことばの力」を育むための手段として、思考をともなった話型等を活用した言語活動を取り入れた授業づくり等の研究をおこなった。

支部教育研究助成

組合費納入人員や協賛金に基づく助成率によって算出された金額（29支部、総計9,273,125円）を支部に助成した。

教育研究特別助成

○宝塚支部教育研究委員会（平和教育部会）

支部内の平和教育に関する史料をまとめた『宝塚ピースマップ』の第3版を製作・発行。別冊資料をあわせて活用し、授業で使えるように学習会をおこなった。

○津名教育研究所（技術・家庭科部会）

小・中・高の交流や、技術・家庭科の基礎・基本の精選と指導法の工夫を研究した。2学期の授業研究会のとりくみを中心に、各校での実践を報告、意見交換をおこなった。研究内容をまとめ、教研ヘリポートを提出し、研究と交流を深めた。

就学援助事業

県内の小・中学校、中等教育学校および特別支援学校に在学する小学校6年生、中学校3年生の要保護家庭・準要保護家庭の児童・生徒11,761人を対象として就学助成物品を届けた。

また、東日本震災により兵庫県に避難してきている児童・生徒106人に就学支援物品を贈った。

県民大学への助成

ひろく県民に開かれた大学として、兵庫における教育文化にかかわる研究・啓発・創造活動をおこなってきた。支部教育研究集会において講演会を共催するなどし、29支部に助成をおこなった。

社会貢献事業

車椅子寄贈

（公財）日本教育公務員弘済会兵庫支部、（一財）兵庫県教育会館と共催し、車椅子4台を県内の子どもたちへ寄贈した。（通算546台）

福祉自動車等寄贈

（二財）兵庫県学校厚生会と共催し、福祉自動車2台を次の施設へ寄贈した。

○放課後等デイサービス

ジャングルくらぶ

友情号129号

（日産 セレナ）

○特定非営利活動法人ネクスト

就労継続支援B型事業所

えこんて

友情号130号

（日産 セレナ）

児童養護施設等支援事業

次の3施設へ支援をおこなった。

○児童養護施設

グイン・ホーム

夏季キャンプ事業

○児童ホーム 東光園

学習ボランティア事業

○パソコンコミュニティハウス

信和学園

調理実習器具の整備

（通算26施設）



車椅子・福祉自動車・児童養護施設支援寄贈式